

# 全建総連 支援対策本部ニュース(No.5)

全建総連 東日本大震災復興支援対策本部

## 4 組 合 に 書 記 局 員 を 派 遣

全建総連では今週、大江書記次長をはじめ書記局員 10 人を岩手、宮城、福島、茨城の 4 組合に派遣します。これは、該当組合と協議の上、近隣組合の協力も得て行うものです。

16～18日 岩手県連（大江書記次長、前島部長）

16～17日 全建総連福島（浅賀部長、森主任書記）

16～17日 茨城県連（梅澤部長、高橋部長、徳本部長）

18～19日 宮城県連（勝野部長、小林部長、松葉書記）

## 各組合からの報告

### 全建総連福島

15日朝、全建総連福島に問い合わせをしたところ、福島第一原子力発電所の事故の影響で、半径 20 kmの強制避難のほかに、その周囲でも自主避難が始まっており、その避難は内陸部まで及んでいる。太平洋沿岸の組合の事務局も避難している。とても連絡が取れる状況にはないとのことでした。さらに、ガソリン不足で身動きも取れない状況だといっています。

### 山形県連の三浦委員長より(15日10時)

「山形県連では早速カンパに取り組みたい。また、物資輸送は山形市(山形県連事務所)を拠点にすることが可能。ルートとしては、関越自動車道で新潟まで行き、国道7号線で坂町まで、そこから国道113号線で小国、南陽を經由して国道13号線に出れば山形市に入れる。現在、山形県内は宅配便は取り扱われていないが、このような陸路であれば可能だ。問題はガソリンの給油だ。山形市まで来れば、仙台方面への輸送ができる。」

### 千葉県連より

3/11の地震発生直後から、参加の各組合組織へ電話にて連絡を取るよう努めました。電話が大変つながりにくい状況で、一部連絡が取れないところがありました。連絡の取れた銚子、千葉建労は、「事務所は壊れていない。職員もとりあえず無事である。」との確認ができました。

現在、千葉県連では、3/18(金)を目処に、傘下の組合・組織に組合員さんの被害状況調査をお願いしています。

役員さんへも状況を確認するために電話を入れましたが、千葉県連は役員全員が現場の職人であるため、お客様の対応に追われ、十分に話が出来ない状況になっています。

### 東京都連の古屋書記が液状化現象を目の当たりに

【東京都連・古屋記】震災当日3月11日の夜中、全建総連会館の事務所から自宅のある浦安駅になんとか到着しました。自宅まで戻る途中、道路一面に砂と、場所によっては洪水のあのような光景が広がっていました。

浦安市は海からも近いので、津波が浦安にも発生したのかとその時は思いました。

しかし、一夜明け、同居する祖父母に地震当時の話を聞いてみると、津波ではないことが分かりました。

浦安市は埋立地が多く、液状化現象が起こり、地震発生当時、道路から大量の水を含んだ砂が噴出してきたというのです。

当日夜は、夜中のためよく見えませんでしたでしたが、バイクで市内を巡回してみると、街中には泥があふれ、地震の影響で住宅の壁も崩壊、地割れがいたる所で起こっており、通行禁止区域も。車も泥に埋もれ、浸水している店舗もあり、目を疑いました。

ニュースではほとんど報じられていませんが、津波を受けた旭市以外でも千葉県内の各所に大きな被害が出ています。あらためて液状化現象の恐ろしさを体験することとなりました。



写真左・地盤が緩み門扉が倒壊状態に



写真右・地中の配管が破損して噴き出した水で道路は雨後のよう

いずれも写真でもアスファルト道路は砂まみれとなっている

岩手県連より3通の報告が寄せられました。

## その1

### 「東日本大震災 岩手県連状況報告」

#### 死者は502人に【岩手県警 5:30 発表】 (2011年03月14日 13:53 更新)

岩手県警のまとめによりますと岩手県内の死者の数は502人にのぼっています。うちわけは大船渡警察署管内で194人、宮古警察署管内で139人、釜石警察署管内で138人、久慈警察署管内で24人、岩泉警察所管内で7人となっています。

陸前高田・大船渡	194人
釜石・大槌	138人
宮古	139人
久慈	24人
岩泉町	7人
合計	502人

上記、陸前高田市191人、大船渡市61人、釜石市194人、大槌町148人、宮古市192人、久慈市に100人、合計で886人ほど組合員がいます。

行方不明になっているのは315人、負傷者は83人となっています。被災地の組合員の安否がこちらから確認できない状況が続いています。

盛岡市内は3月11日の地震直後から停電3月13日午後に復旧。断水、ガスは止まらなかったです。

3月12日～ガソリンを求める車が長蛇の列で、10人入れるのに、2時間待ちの状態でも、13日曜日に事務所へ様子を見る途中に給油しましたが、1時間半待ってやっと給油できた状況です。

スーパーやコンビニでも買い物客が殺到し、入場制限しての対応でした。13日は電気が復旧した店舗では50組ずつの入場制限で400人の利用者が列をつくっていました。

3月14日、各組合の状況ですが報道などでご存知のことと思いますが、こちらでも停電復旧後13日の午後ようやくテレビニュースで惨状を確認した状態です。

岩手県内死亡者についてですが500人を超えています。【岩手県連佐藤美智男記】

## その2

3月15日確認

宮古市、宮古建設組合 組合長 鈴木勇平さん、奥様でけんれん主婦の会会長の鈴木共子さん、宮古組合田老方面佐々木敬貴副組合長、大槌町、大槌建成組合の組合長祝田秀廣さんの安否が確認できました。

【岩手県連佐藤美智男記】

## その3

3/15 緊急復興対策の県知事要請を早速行いました。

岩手県庁菅野洋樹総務部長に対し齋藤県連会長、盛岡大峠組合長、藤原書記長、県連書記長佐藤の4名で県議会自由民主クラブの千葉幹事長を紹介議員に要請を行いました。

内容は「復興工事にあたり、建設業者への優先的な燃料確保の要請と復興支援対策補修にかかる工事について組合員は協力を惜しまないので、ぜひとも協力させて下さい。」と会長から菅野総務部長に渡しました。

菅野部長も「今は人命救助が第一、県としても燃料の確保を国へ要請しているところです」と話されました。